

カラダもココロも健康に

いきいきらしいふ

no.78
2023.WINTER

徳大病院だより

特集

パーキンソン病 について

■CLOSE UP

治療と仕事の相談窓口について

■徳大病院ニュース

- ・化学災害患者の除染訓練を実施
- ・令和4年度総合メディカルゾーン本部
合同災害対策訓練を実施
- ・心房細動の新手術を施行
- ・クリスマスツリーを設置
- ・読響ハートフルコンサートを開催

■病院のお仕事いろいろ

- ・診療放射線技師

■tokudai-staff information

■地域連携の部屋

- ・地域連携病院④ 「医療法人 慈成会 寺沢病院」

■食事のヒント

- ・食事で“温活”しませんか？



パーキンソン病について

本院パーキンソン病・ジストニア治療研究センターの森垣副センター長に、パーキンソン病とその外科的治療などについてお伺いしました。

パーキンソン病とは

パーキンソン病は、ジストニアと並び運動異常症を生じさせる2大神経疾患とされ、神経難病に指定されている病気です。多くの研究者のたゆまぬ努力で、少しずつその原因が解明されてきましたが、未だ詳細については不明な点が多い病気です。分かっていることは、脳の運動制御を助ける神経伝達物質のひとつであるドパミンを作る神経細胞が減少し、ドパミンが少なくなることです。これによって、身体が動きにくくなります。この病気は、ふるえや動きづらといったことから始まり、徐々に転倒しやすくなるというふうに進んでいきます。また、運動症状以外にも、図1のとおり様々な症状を生じさせるため、患者さん本人はもちろんですが、そのご家族へのサポートも重要となる病気です。

【運動症状】

振戦、無動、運動緩慢、筋強剛、姿勢保持障害

【非動症状】

便秘、嗅覚異常、睡眠障害、うつ、起立性低血圧、排尿障害、認知症、幻覚、妄想、発声・嚥下障害など

(図1)パーキンソン病の諸症状



■説明は
徳島大学病院パーキンソン病・ジストニア
治療研究センター副センター長

森垣 龍馬
(もりがきりょうま)

■治療に関する問い合わせ
脳神経外科外来
Tel: 088-633-7147

■教室リカバ
Tel: 080-3698-8739

患者さんへひとこと

本院では、脳神経内科や脳神経外科、リハビリテーション部などが共同してパーキンソン病の治療に励んでいます。さらに患者さんのサポートとなるよう教室リカバでのフレイル予防にも取り組んでいます。一緒によりよい治療を目指して頑張っていきましょう。

徳島大学病院での外科的治療

パーキンソン病への治療は薬物によるものが基本で、リハビリテーションなどが平行して行われることがあります。しかし、症状が進行し、手術による治療を希望される場合、本院では脳深部刺激療法(以下DBSという。)を実施しており、年間30件程度行っています。DBSでは、図2のように脳に電極を挿入し、電気で刺激することによって、異常になった運動回路を正常なものへ修正します。ただし、多くの利点とともに、機械を体内に挿入するため感染症のリスクや、バッテリー交換が必要などの欠点があるため、DBSの導入には利点・欠点をそれぞれ理解して判断していただくことが重要です。



(図2)脳深部刺激療法(DBS)

パーキンソン病とフレイル

フレイルとは、「健康と要介護の間」の状態で、加齢により体力や気力が弱まった状態を指します。パーキンソン病は、特に社会的フレイル(孤独)や身体的フレイル(筋肉量の低下など)に陥りやすく、社会的フレイルの状態ではパーキンソン病の症状が悪化することが分かってきました。徳島大学蔵本キャンパス内には「リカバ」という体操教室(無料)があり、患者さん同士の交流や運動・認知トレーニングなどを実施しており、オンラインでも参加ができるようになってきました。本院の患者さんにも多く参加いただき、好評を得ています。

今後は、多くのパーキンソン病患者さんを救えるように、また負担を減らせるような社会的な仕組みを作ることを目指しています。いろいろな課題はありますが、様々な方々からの協力を得ていくことで、これを実現させていければと考えています。

CLOSE UP!



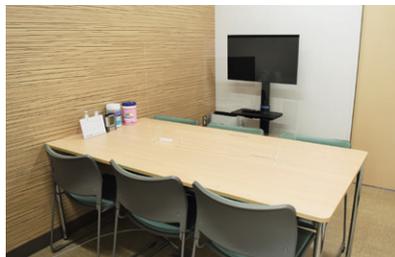
治療と仕事の相談窓口



本院では、病気で休職した患者さんが円滑に職業復帰できるよう、働きながら継続して治療が受けられるよう、治療と仕事の両立支援を行っています。今回は本院の治療と仕事の相談窓口についてご紹介します。

背景

近年、医療技術の進歩により、これまで予後不良とされてきた病気の生存率が向上していることなどを背景に、治療をしながら仕事を続けることを希望する方が多くなっており、日本の労働人口の約3人に1人が何らかの病気を抱えながら働いています。仕事を理由に治療機会を逃すことなく、また、治療を理由に仕事の継続を妨げられることなく、適切な治療を受けながら安心して生き生きと働き続けられる社会を目指す厚生労働省の「働き方改革実行計画」に基づく取り組みとして始まったのが、「治療と仕事の両立支援」です。



面談室



相談窓口のメンバー

治療と仕事の相談窓口の役割

病気と診断され、治療をしながら仕事を続けると職場に迷惑をかけてしまうかもしれないと離職される方は少なくありません。こうした方が離職をしなくても、治療と仕事の両立ができるよう、各相談員が支援を行っています。本院では、主治医と職場の連携の中心となり、患者さんに寄り添いながら継続的に相談支援を行い、患者さんごとのプラン作成などを担う「両立支援コーディネーター」が在籍しています。患者さんがどのような働き方（作業内容や作業負荷など）をしているか聞き取り、主治医が患者さんの業務に関する情報を踏まえた上で、就業継続の可否や就業上の措置、治療に対する配慮について詳細に記載した意見書を作成し、職場側にお伝えするなど、患者さん、主治医（医療機関）、職場の三者が情報共有を円滑・的確に行えるようサポートしています。また、様々な制度や障害年金の申請支援を行う社会保険労務士や、再就職に係る職業形態などの具体的アドバイスを行うハローワークによる就労相談も無料で行っています。

■説明は

(前列右から)

看護師長 **井口 和子**
(いぐち かずこ)

副看護師長 **藤村 ひとみ**
(ふじむら ひとみ)

(後列右から)

MSW **秋月 佐代**
(あきづき さよ)

看護師 **高田 裕子**
(たかた ゆうこ)

看護師 **立木 佐知子**
(たつき さちこ)

■お問い合わせ先

患者支援センター Tel: 088-633-9107



患者さんに ひとこと

治療と仕事に不安を感じている方は、どんなささいなことでも構いませんので、まずはご相談ください。

一人で悩んでいませんか？
まずはご相談ください。

- ・職務上の配慮をしてほしい
- ・職場の理解や協力が得られるか心配
- ・入院すると収入がなくなる
- ・利用できる制度が分からない
- ・病気のことを上手く職場に伝えられない
- ・治療に合わせた休暇が取りづらい

今後について

相談窓口や両立支援制度はまだまだ認知度が低いのが現状です。病気を抱えても安心して働き続けられる環境づくりが推進されるよう、患者さんやご家族、事業所など、多くの方に知っていただきたいと考えています。

●休職中や職場復帰予定の方

社会保険労務士による就労相談

様々な制度や障害年金の申請などを支援

●治療と仕事の両立で困っている方

●休職中や退職を考えている方

両立支援コーディネーターによる就労相談

- ・看護師と医療ソーシャルワーカーが職場と担当医の中立の立場で支援
- ・利用可能な制度のご案内

●再就職を考えている方

ハローワークによる就労相談

治療を継続して行える仕事のご案内

化学災害患者の除染訓練を実施しました

令和4年9月16日「揮発性の毒劇物に曝露された化学災害患者が搬送されて来た」との想定のもと、除染訓練を行いました。

本院災害対策室長の大藤救急集中治療部長による除染に関する講演後、同部長指導のもと、実技訓練を行いました。参加した医師や看護師らは、防護服の着用から模擬患者の衣類除去、除染ブースでのシャワーによる洗浄及び搬出までの手順を入念に行い、何時いかなる化学災害患者が発生しても対応できるよう取り組みました。



令和4年度総合メディカルゾーン本部合同災害対策訓練を実施しました

本院が災害拠点病院として、大規模災害発生時に患者を受け入れるにあたり、災害対策本部や患者受入体制が十分機能するかどうかを確認するため、徳島県立中央病院と合同で、令和4年10月15日に災害対策訓練を行いました。

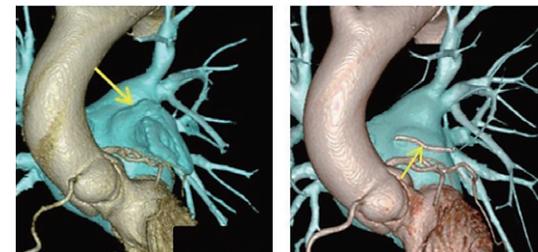
今回の訓練は、新型コロナウイルス感染症の対策として、規模を縮小し図上訓練としましたが、巨大地震による負傷者が多数本院に搬送されるという想定のもと、香美祥二病院長を本部長とする災害対策本部を立ち上げ、訓練を実施しました。また、両院を結ぶメディカルブリッジを利用し、相互の被害状況の伝達や、患者搬送訓練も行いました。参加したスタッフは訓練に真剣に向き合い、災害時医療及びチーム医療の重要性について再確認しました。



心房細動の新技术を徳島大学病院で施行

左心耳切除と不整脈治療のアブレーションを行う完全胸腔鏡下低侵襲心房細動手術(ウルフ-オオツカ手術)を令和4年9月に本院にて四国地方で初めて施行しました。高齢者に多い心房細動は血栓性脳梗塞の原因となり、血栓(血の固まり)は心臓の左心耳に出来やすいため、その切除を行います。心房細動や脳梗塞予防の抗凝固療法の副作用などでお悩みの方は心臓血管外科に是非ご相談下さい。

(心臓血管外科・秦)



クリスマスツリーを設置しました

本院西病棟1F玄関ホールに令和4年12月1日から26日の間、クリスマスツリーを設置しました。キラキラとしたツリーにクリスマス時期の華やかな気分を感じていただけたなら幸いです。



読響ハートフルコンサートを開催

令和4年12月13日、外来診療棟1Fアメニティテラスで、読売日本交響楽団から演奏者4名を迎え、ハートフルコンサートを開催しました。聴衆の皆さんは、美しい音色に魅了され、楽しいひとときを過ごしていただけたようでした。



市民公開講座のご案内

徳島大学病院フォーラム2023春 「認知症～求められる診療科の連携～」と「がん～徳島大学病院の最新治療～」

【日時】 令和5年2月23日(木・祝) 13:00～15:50

【場所】 徳島大学大塚講堂 【参加費】 無料(聴講券が必要)

【問い合わせ】 徳島新聞社営業企画部 TEL: 088-655-7313(平日9:30～17:30)

病院のお仕事いろいろ

核医学の スペシャリスト として



医療技術部
診療放射線技術部門
診療放射線技師

阿實 翔太
(あざね しょうた)

診療放射線技師は、主に医師の指示の下で、放射線などを用いた検査や、治療を行う医療技術者です。具体的な検査・治療としては、健康診断などでおなじみのレントゲン検査やCT、マンモグラフィなどといった放射線を使う検査のほかに、磁石と電波を使ったMRIなどの検査、がん治療に用いる放射線治療があります。

今回ご紹介する阿實技師は、徳島大学病院に入職して14年、現在核医学検査を担当しており、核医学専門技師の資格を取得しています。核医学検査はアイソトープ検査、RI検査とも呼ばれるもので、特定の臓器や組織に集まる放射性医薬品のうち目的に応じたものを患者さんに投与して、そこから出される放射線をガンマカメラやPET-CTで撮影し、病気の診断に利用します。

核医学検査は、放射線性医薬品を身体の中に接種することになるため、患者さんの中

には放射線の影響について不安に思われる方もいらっしゃいます。阿實さんは、患者さんからそうした質問を受けた際に、少しでも不安を取り除けるよう分かりやすく、丁寧な説明を心がけています。また、検査に用いるガンマカメラやPET-CTについて、閉所恐怖症などの理由から、検査を不安に思われる患者さんには、事前に撮影機器を確認していただくなどの対応もされているそうです。

検査後、診療放射線技師は、撮影した画像について、医師が診断を行う際に適したものとなるよう画像処理を行います。この時の処理加減によっては、診断が困難になったり、誤診に繋がったりする恐れがあるため、知識と経験が必要です。

お話しの最後に、阿實技師から今後の目標について、「知識と経験を更に深め、最適な画像を提供していけるように努めていきたい」とお話しいただきました。



耳鼻咽喉科・
頭頸部外科長
北村 嘉章
(きたむら よしあき)

令和4年4月から耳鼻咽喉科・頭頸部外科長を拝命いたしました。当科は、コミュニケーションに必要な聴覚と音声言語、生命を維持するための呼吸、嚥下、平衡機能、そして生活の質を豊かにする味覚、嗅覚など多くの重要な機能が集まる耳、鼻、のどの診療を担当しています。また頭頸部のがんに対して命を守る診療を行っています。これからも世界標準の治療とロボット手術や光免疫療法などの最新の治療を安心安全に提供していきたいと考えています。どうぞよろしくお願い申し上げます。

治験を実施しています

現在、開発中の医薬品の候補（治験薬）あるいは医療機器を用いた治験を、以下の病気を対象に実施しています。参加いただいた患者さんにおけるデータを収集し、有効性や安全性を確認して医薬品や医療機器としての「承認」を得ることが治験の目的ですが、参加いただいた患者さんにとって良い効果をもたらす場合もあります。まずは、よく情報を得ていただきたいと思っておりますので、**お気軽にお問い合わせください。**

ご協力
お願いします。

- 肺癌
- 腎細胞癌
- 肝細胞癌
- 筋層浸潤性膀胱癌
- 多発性骨髄腫
- 小児2型糖尿病
- 転移性去勢抵抗性前立腺癌
- てんかん
- 統合失調症
- 間質性膀胱炎
- 心臓リハビリテーションの適応となる心疾患
- ALS（筋萎縮性側索硬化症）
- 慢性線維化性間質性肺炎患
- 慢性炎症性脱髄性多発神経炎（CIDP）
- ALアミロイドーシス
- 多巣性運動ニューロパチー（MMN）



ちけん君は
日本医師会治験
促進センターの
キャラクターです。

問合せ：総合臨床研究センター
tel.088-633-9294

入院日用品レンタルサービス「CSセット」専門企業



『CSセット』とは？

入院時に必要となる日用品やおむつ、タオル類、衣類等を洗濯付きでレンタルできるサービスです。

DELAN
株式会社エラン

東証一部上場(証券コード:6099)

お問い合わせはこちら

TEL 0263-29-2680 (9:00~17:00)

Mail request@kkelan.com

西病棟 11階 特別個室



春の桜。
夏の深緑。
秋の紅葉。
山眠る冬。
眉山の
絶景を
臨む
特別な
空間。

特別個室に入室をご希望の方は担当医にご相談ください。



地域連携の部屋

このコーナーでは、徳島大学病院が徳島県や他の医療機関の皆さま等と協力し、患者さんへのよりよい医療の提供を目指してすすめている、様々な取り組みについて取り上げます。

Vo.47

地域連携病院④「医療法人 慈成会 寺沢病院」

今回は、徳島市津田西町にある寺沢病院をご紹介します。

■地域に密着した病院として

寺沢病院は、大正6年に開業して以来、地域に密着した病院として、地域医療に長く貢献してきました。



現在、寺沢病院は、病床88床（一般病床30床、地域包括病床12床、療養型病床46床）を有し、内科医、外科医、放射線科医が常勤し、脳神経外科、循環器内科、内分泌内科、整形外科、泌尿器科など多くの診療科の専門外来を行い、様々な疾患の患者さんの外来・入院治療に対応しています。特に専門医による糖尿病外来、肝臓病外来、消化器病外来を毎日行っています。さらに訪問看護・リハビリ、デイケア、デイサービスなどの在宅事業サービスを提供するとともに、関連施設としてグループホームやサービス付き高齢者住宅を有することで、地域のニーズに応えています。

■糖尿病の治療について

寺沢病院では、徳島県に多い糖尿病の治療に力をいれています。日本糖尿病学会専門医が月曜日から土曜日まで毎日専門外来を行っており、糖尿病にみられる難治性足病変（潰瘍、壊死など）についても外科医が積極的に治療に取り組んでいます。また日本糖尿病療養指導士や徳島県糖尿病療養指導士の資格を持つ多数の看護師、管理栄養士、薬剤師、理学療法士が多職種連携で患者さんのサポートに尽力しています。新型コロナ流行前には、コント

などで糖尿病を学ぶ「糖尿病教室」や、患者さんと病院のスタッフが一緒に食事療法を体験する「体験食事会」などを活動的に行っていました。「体験食事会」については144回まで実施されており、口コミで参加される方も多い人気行事とのことでした。

寺澤院長は、「もう少しコロナが落ち着いてきたら、以前のような様々な行事も積極的に行っていきたいと考えています。引き続き地域医療への貢献を続けていきたい」と語ってくださいました。



糖尿病スタッフ（日本糖尿病療養指導士、徳島県糖尿病療養指導士、徳島市糖尿病サポーターで構成）

■徳島大学病院との連携

寺沢病院では、徳島大学病院の多くの科と連携を行っており、特に本院消化器移植外科との連携では、本院で手術などの専門的治療を行った後に、術後管理などが必要な患者さんの受入対応も行っています。寺澤院長からは、本院との連携について、「各科で柔軟な対応、ハイレベルな治療をいただき感謝しています。今後もがんを含む様々な疾患について病診連携を強化させていただきたい。」とおっしゃってくださいました。

「地域医療連携」について

徳島大学病院患者支援センターでは、大学病院と地域の医療機関との円滑な橋渡しをめざして、大学病院での高度先進医療から、患者さんがお住まいの地域の診療機関と連携し、在宅療養へと継続できるようサポートしています。

問い合わせは

医療法人 慈成会
寺沢病院
徳島県徳島市津田西町
1丁目2番30号
TEL.088-662-5311、
088-662-5312

■説明は（左から）
寺澤 敏秀（てらさわ としひで）院長
鶴尾 美穂（つるおみほ）副院長



食事のヒント

テーマ 食事で“温活”しませんか？

寒さの厳しい時期。ねぎやしょうがを食べて、体の芯から温まりましょう。体が温まると血液の流れもよくなり、免疫にもよい影響が出るといわれ、風邪予防にもなりますよ。

回答は
栄養部 / 筑後 桃子
(ちくご ももこ)



メニュー① ねぎと牛肉のカレー風味炒め

【材料(1人分)】

牛薄切り肉	100g
長ねぎ	1本
生姜	5g
ゴマ油 (炒める際に使用)	
片栗粉	大さじ1/2
[A] しょうゆ	小さじ1/2
ゴマ油	小さじ1/2
醤油	大さじ1/2
[B] みりん	大さじ1/2
カレー粉	小さじ1/2

【栄養量(1人分)】 エネルギー 385kcal、たんぱく質 23.6g、塩分 1.6g



【作り方】 ①牛肉に[A]をよくからめる。②ねぎは3cm幅の斜め切りにする。③生姜は薄切りにし、2～3等分に切る。④中火で熱したフライパンにゴマ油小さじ1/2程度をひき、牛肉を焼く。各面1分程度焼き、少し火を通したら一度取り出す。⑤フライパンを軽く拭き、ゴマ油小さじ1を入れ、②・③を中火で3～4分炒める。⑥フライパンのふちに寄せ、真ん中に[B]を順番に加えて2分ほど炒める。⑦④の牛肉を戻して強火で1～2分間水分を飛ばしながら炒める。

ちよっと一言 しょうがに含まれる辛み成分ジンゲロールは、加熱によりショウガオールという体温を上げる成分に変化します。皮に多く含まれるのもポイントです。

メニュー② しめじとねぎのしょうがスープ

【材料(1人分)】

しめじ	40g
長ねぎ	1/2本
生姜	10g
塩	少々
ゴマ油	大さじ1/2
水	200ml
鶏ガラスープの素	小さじ1/2
黒こしょう	少々
白ごま	適量

【栄養量(1人分)】 エネルギー 116kcal、たんぱく質 3.0g、塩分 1.4g



【作り方】 ①しめじは石づきを切り落とし、ほぐす。②長ねぎは根元を切り落とし、斜め薄切りにする。③生姜は薄く皮をむいて千切りにする。④中火で熱した鍋にゴマ油をひき、①～③・塩を入れ、弱火で炒める。⑤長ねぎがしんなりしたところで水・鶏ガラスープの素を加え、中火で煮る。⑥ひと煮たちしたら黒こしょうを入れて火からおろす。⑦器に盛りつけ、白ごまを散らす。



JR HOTEL CLEMENT TOKUSHIMA ホテルならではの質の高い空間と、行き届いたサービス。

ビジネス・観光の拠点としてぜひご利用ください



JR徳島駅直結ホテル

【JRホテルクレメント徳島】
〒770-0831 徳島市寺島本町西1-61
TEL:088-656-3111

ホテルHPは
こちら



